



## 2022年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年4月28日

上場会社名 ナブテスコ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6268 URL <http://www.nabtesco.com>  
 代表者（役職名）代表取締役（氏名）木村 和正  
 問合せ先責任者（役職名）コーポレート・コミュニケーション部長（氏名）峯岸 康（TEL）03-5213-1134  
 四半期報告書提出予定日 2022年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（電話会議、機関投資家・アナリスト向け）

（表示単位未満四捨五入）

## 1. 2022年12月期第1四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年3月31日）

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	70,386	△2.3	4,995	△24.9	△5,069	—	△3,912	—	△4,388	—	652	△99.2
21年12月期第1四半期	72,028	5.0	6,655	△18.7	124,494	—	81,115	—	80,058	—	84,268	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	△36.57	△36.57
21年12月期第1四半期	647.79	647.75

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
22年12月期第1四半期	461,904	248,036	234,750	50.8
21年12月期	481,718	254,995	239,910	49.8

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	38.00	—	39.00	77.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	39.00	—	39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	153,500	5.3	13,400	△8.3	14,400	△86.7	7,700	△88.7	64.03
通期	320,000	6.7	33,000	9.9	35,000	△65.7	23,400	△63.9	194.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

上記の連結業績予想における「税引前利益」及び「親会社の所有者に帰属する当期利益」の対前年同期増減率が大幅に変動しているのは、前期（2021年12月期）に株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの持分法適用除外に伴う評価益等を計上したことによります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 0社(社名) 、除外 0社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

22年12月期1Q	121,064,099株	21年12月期	121,064,099株
22年12月期1Q	1,079,069株	21年12月期	1,091,211株
22年12月期1Q	119,979,545株	21年12月期1Q	123,585,587株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
3. 補足情報 .....	13
(1) セグメント別受注残高 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、産業用ロボット向け精密減速機の高い需要が継続しましたが、中国で油圧機器の需要が大幅に減少したことに加え、鉄道車両用機器でも国内及び中国市場において新型コロナウイルスの影響により需要が減少し、売上高は70,386百万円、営業利益は4,995百万円となりました。また、株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ（以下、ハーモニック社という）の株価変動に伴う評価損を計上したことにより、税引前四半期損失は5,069百万円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期損失は4,388百万円となりました。

## ① 受注高、売上高、営業利益

当第1四半期連結累計期間の受注高は、前年同期比7,271百万円（9.0%）増加し88,095百万円となりました。売上高は、同1,642百万円（△2.3%）減少し70,386百万円となり、営業利益は、同1,659百万円（△24.9%）減少し4,995百万円となりました。売上高営業利益率は7.1%となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

## 【受注高】

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	増減率 (%)
コンポーネントソリューション事業	40,998	38,666	△5.7
トランスポートソリューション事業	14,798	18,238	23.2
アクセシビリティソリューション事業	19,560	25,740	31.6
その他	5,468	5,450	△0.3
合計	80,824	88,095	9.0

## 【売上高】

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	増減率 (%)
コンポーネントソリューション事業	34,103	31,293	△8.2
トランスポートソリューション事業	14,893	14,716	△1.2
アクセシビリティソリューション事業	19,917	21,536	8.1
その他	3,115	2,841	△8.8
合計	72,028	70,386	△2.3

## 【営業利益又は損失】

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	増減率 (%)
コンポーネントソリューション事業	5,950	3,835	△35.6
トランスポートソリューション事業	638	1,060	66.0
アクセシビリティソリューション事業	2,970	2,280	△23.2
その他	218	△75	—
全社または消去	△3,122	△2,105	—
合計	6,655	4,995	△24.9

## 【コンポーネントソリューション事業】

コンポーネントソリューション事業の受注高は、前年同期比2,332百万円（△5.7%）減少し38,666百万円となりました。売上高は、同2,810百万円（△8.2%）減少し31,293百万円、営業利益は、同2,115百万円（△35.6%）減少し3,835百万円となりました。

精密減速機は、産業用ロボットや工作機械向けが好調であったことに加え、半導体製造装置向けなどでも高い需要があったことから、売上高は前年同期比で増加となりました。

建設機械向け油圧機器は、欧米や東南アジアでは好調だったものの、中国で需要が大幅に減少し、売上高は前年同期比で減少となりました。

## 【トランスポートソリューション事業】

トランスポートソリューション事業の受注高は、前年同期比3,440百万円（23.2%）増加し18,238百万円となりました。売上高は、同177百万円（△1.2%）減少し14,716百万円、営業利益は、同422百万円（66.0%）増加し1,060百万円となりました。

鉄道車両用機器は、MRO (Maintenance, Repair, Overhaul) が堅調に推移したものの、国内及び中国市場において新車向け需要が減少し、売上高は前年同期比で減少となりました。

航空機器は民間航空機向けで緩やかな需要回復により、売上高は前年同期比で増加となりました。

商用車用機器は、顧客の生産調整による減産の影響を受けたものの、東南アジア市場の回復により、売上高は前年同期並みとなりました。

船用機器は、造船・海運市場が堅調に推移し、売上高は前年同期並みとなりました。

## 【アクセシビリティソリューション事業】

アクセシビリティソリューション事業の受注高は、前年同期比6,181百万円（31.6%）増加し25,740百万円となりました。売上高は、同1,619百万円（8.1%）増加し21,536百万円、営業利益は、同690百万円（△23.2%）減少し2,280百万円となりました。

自動ドア事業は、国内・海外ともに堅調に推移し、売上高は前年同期比で増加しました。

## 【その他】

その他の受注高は、前年同期比18百万円（△0.3%）減少し5,450百万円となりました。売上高は、同274百万円（△8.8%）減少し2,841百万円、営業損失は、75百万円（同△293百万円）となりました。

包装機は、製品売上・MROともに電子部品等を中心に調達品遅れが発生したことにより、売上高は前年同期比で減少となりました。

## (参考) 地域ごとの情報

## 【売上高】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	増減率 (%)
日本	38,909	39,847	2.4
中国	16,517	10,742	△35.0
その他アジア	3,885	4,258	9.6
北米	3,740	4,220	12.8
ヨーロッパ	8,344	10,219	22.5
その他地域	632	1,101	74.3
合計	72,028	70,386	△2.3

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

## ② 税引前四半期損失

金融費用において、ハーモニック社の株価変動に伴う評価損11,725百万円を計上したこと等により、税引前四半期損失は5,069百万円（前年同期比△129,563百万円）となりました。

また、前年同期比△129,563百万円となった主な要因は、前年同期においてハーモニック社の持分法適用除外に伴う評価益（金融収益）125,107百万円を計上していたこと、及び同社の株価変動に伴う評価損（金融費用）が前年同期比5,313百万円増加したことによります。

## ③ 親会社の所有者に帰属する四半期損失

以上の結果、法人所得税費用△1,157百万円、及び非支配持分に帰属する四半期利益476百万円を差引いた親会社の所有者に帰属する四半期損失は4,388百万円（前年同期比△84,446百万円）となりました。

また、基本的1株当たり四半期損失は36.57円（同△684.36円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び資本の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2021年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (2022年3月31日)	増減額
資産	481,718	461,904	△19,814
負債	226,723	213,869	△12,855
資本	254,995	248,036	△6,959

## 【資産】

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は268,958百万円、非流動資産は192,946百万円であり、その結果、資産合計は461,904百万円と前連結会計年度末比19,814百万円の減少となりました。主な増加要因は、棚卸資産の増加6,820百万円です。主な減少要因は、現金及び現金同等物の減少13,439百万円、営業債権の減少7,464百万円、ハーモニック社の株価変動に伴う資産の減少11,725百万円（売却目的で保有する資産の減少5,863百万円、及びその他の金融資産の減少5,863百万円）です。

## 【負債】

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は180,840百万円、非流動負債は33,029百万円であり、その結果、負債合計は213,869百万円と前連結会計年度末比12,855百万円の減少となりました。主な増加要因は、その他の債務の増加4,322百万円です。主な減少要因は、未払法人所得税の減少17,071百万円です。

## 【資本】

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は248,036百万円となりました。親会社の所有者に帰属する持分合計は234,750百万円と前連結会計年度末比5,161百万円の減少となりました。主な増加要因は、在外営業活動体の換算差額の増加3,734百万円等によるその他の資本の構成要素の増加3,846百万円です。主な減少要因は、親会社の所有者に帰属する四半期損失4,388百万円、及び配当4,692百万円等による利益剰余金の減少です。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		112,771	99,332
営業債権		74,957	67,493
契約資産		2,065	2,740
その他の債権		1,300	1,248
棚卸資産		41,880	48,700
その他の金融資産		7,821	5,857
その他の流動資産		3,588	4,932
小計		244,382	230,302
売却目的で保有する資産		44,519	38,656
流動資産合計		288,900	268,958
非流動資産			
有形固定資産		89,020	91,299
無形資産		4,251	4,946
使用権資産		8,877	9,998
のれん		16,184	16,750
投資不動産		2,162	2,148
持分法で会計処理されている投資		15,475	16,112
その他の金融資産		53,860	48,159
繰延税金資産		1,997	2,116
その他の非流動資産		992	1,417
非流動資産合計		192,818	192,946
資産合計		481,718	461,904

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務		51,974	52,463
契約負債		5,704	7,865
借入金		14,690	12,269
その他の債務		10,776	15,098
未払法人所得税		19,788	2,718
引当金		1,206	1,240
リース負債		2,158	2,414
その他の金融負債		77,878	77,936
その他の流動負債		7,139	8,838
流動負債合計		191,315	180,840
非流動負債			
借入金		2,897	2,985
リース負債		7,575	8,474
退職給付に係る負債		9,079	9,152
繰延税金負債		13,922	10,324
その他の非流動負債		1,936	2,094
非流動負債合計		35,408	33,029
負債合計		226,723	213,869
資本			
資本金		10,000	10,000
資本剰余金		14,961	14,989
利益剰余金		214,791	205,704
自己株式		△4,784	△4,732
その他の資本の構成要素		4,942	8,789
親会社の所有者に帰属する持分合計		239,910	234,750
非支配持分		15,084	13,286
資本合計		254,995	248,036
負債及び資本合計		481,718	461,904



(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	2	72,028	70,386
売上原価		△51,979	△52,184
売上総利益		20,049	18,202
その他の収益		349	350
販売費及び一般管理費		△13,666	△13,487
その他の費用		△78	△70
営業利益	2	6,655	4,995
金融収益		126,222	889
金融費用		△9,000	△11,764
持分法による投資利益		618	811
税引前四半期利益又は損失(△)		124,494	△5,069
法人所得税費用		△43,379	1,157
四半期利益又は損失(△)		81,115	△3,912
四半期利益又は損失(△)の帰属			
親会社の所有者		80,058	△4,388
非支配持分		1,057	476
四半期利益又は損失(△)		81,115	△3,912
1株当たり四半期利益又は損失(△)			
基本的1株当たり四半期利益又は損失(△)(円)		647.79	△36.57
希薄化後1株当たり四半期利益又は損失(△)(円)		647.75	△36.57

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期利益又は損失(△)		81,115	△3,912
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動		444	115
純損益に振り替えられることのない 項目合計		444	115
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		2,709	4,448
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計		2,709	4,448
税引後その他の包括利益合計		3,152	4,564
四半期包括利益合計		84,268	652
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		82,594	△539
非支配持分		1,674	1,190
四半期包括利益合計		84,268	652

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2021年1月1日残高		10,000	14,998	173,988	△2,471	△3,348	4,863
四半期利益		—	—	80,058	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	2,092	444
四半期包括利益合計		—	—	80,058	—	2,092	444
自己株式の取得及び処分等		—	—	—	△8,587	—	—
配当金		—	—	△4,228	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	1,674	—	—	△1,674
株式報酬取引		—	△69	—	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	△69	△2,554	△8,587	—	△1,674
2021年3月31日残高		10,000	14,929	251,492	△11,058	△1,256	3,633

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2021年1月1日残高		—	1,515	198,031	13,610	211,641
四半期利益		—	—	80,058	1,057	81,115
その他の包括利益		—	2,536	2,536	617	3,152
四半期包括利益合計		—	2,536	82,594	1,674	84,268
自己株式の取得及び処分等		—	—	△8,587	—	△8,587
配当金		—	—	△4,228	△2,876	△7,104
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	△1,674	—	—	—
株式報酬取引		—	—	△69	—	△69
所有者との取引額等合計		—	△1,674	△12,884	△2,876	△15,759
2021年3月31日残高		—	2,377	267,740	12,408	280,149

当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2022年1月1日残高		10,000	14,961	214,791	△4,784	1,874	3,069
四半期損失(△)		—	—	△4,388	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	3,734	115
四半期包括利益合計		—	—	△4,388	—	3,734	115
自己株式の取得及び処分等		—	—	△10	52	—	—
配当金		—	—	△4,692	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	3	—	—	△3
株式報酬取引		—	28	—	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	28	△4,700	52	—	△3
2022年3月31日残高		10,000	14,989	205,704	△4,732	5,607	3,181

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2022年1月1日残高		—	4,942	239,910	15,084	254,995
四半期損失(△)		—	—	△4,388	476	△3,912
その他の包括利益		—	3,849	3,849	715	4,564
四半期包括利益合計		—	3,849	△539	1,190	652
自己株式の取得及び処分等		—	—	42	—	42
配当金		—	—	△4,692	△2,989	△7,681
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	△3	—	—	—
株式報酬取引		—	—	28	—	28
所有者との取引額等合計		—	△3	△4,622	△2,989	△7,611
2022年3月31日残高		—	8,789	234,750	13,286	248,036

## (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

## 1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## 2. 事業セグメント

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、ビジネスモデルの類似性に基づき、事業セグメントを集約した上で、「コンポーネントソリューション事業」、「トランスポートソリューション事業」、「アクセシビリティソリューション事業」の3報告セグメントに区分しています。

各報告セグメントの区分に属する主な事業内容は以下のとおりです。

事業区分	主な事業内容
コンポーネントソリューション事業	産業用ロボット部品、建設機械用機器等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
トランスポートソリューション事業	鉄道車両用ブレーキ装置・自動扉装置、航空機部品、自動車用ブレーキ装置・駆動制御装置、船用制御装置等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
アクセシビリティソリューション事業	建物及び一般産業用自動扉装置、プラットフォーム安全設備等及びこれらの部品の設計、製造、販売、据付、保守、修理

## (2) 報告セグメントに関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書計上額
	コンポー ネント	トランス ポート	アクセシ ビリティ	計				
売上高								
外部売上高	34,103	14,893	19,917	68,913	3,115	72,028	—	72,028
セグメント間売上高	570	226	0	797	121	918	△918	—
売上高合計	34,673	15,119	19,917	69,709	3,236	72,946	△918	72,028
セグメント利益 (営業利益)	5,950	638	2,970	9,559	218	9,776	△3,122	6,655
金融収益				—				126,222
金融費用				—				△9,000
持分法による投資利益				—				618
税引前四半期利益				—				124,494

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益(営業利益)の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書計上額
	コンポー ネント	トランス ポート	アクセシ ビリティ	計				
売上高								
外部売上高	31,293	14,716	21,536	67,544	2,841	70,386	—	70,386
セグメント間売上高	584	300	0	885	48	933	△933	—
売上高合計	31,877	15,016	21,536	68,429	2,890	71,319	△933	70,386
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	3,835	1,060	2,280	7,175	△75	7,100	△2,105	4,995
金融収益				—				889
金融費用				—				△11,764
持分法による投資利益				—				811
税引前四半期損失				—				△5,069

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△)) の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

## 3. 補足情報

## (1) セグメント別受注残高

セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間末 (2021年3月31日)		当第1四半期連結会計期間末 (2022年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
コンポーネントソリューション事業	38,430	27.5	41,633	27.3
トランスポートソリューション事業	53,815	38.5	55,662	36.4
アクセシビリティソリューション事業	37,974	27.2	42,741	28.0
その他	9,521	6.8	12,742	8.3
合計	139,741	100.0	152,779	100.0